

NO SAI **みえ**

 備えの種をまこう。



特集

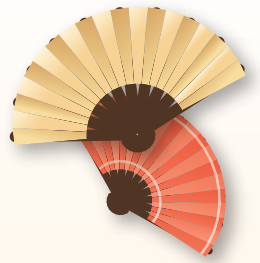
有限会社木曾岬農業センター
～スマート農業で大規模稲作革命！～

連載

農業法人理事が語る Vol.2 「キタコマツファーム」

2025
冬
第29号





あけましておめでとうございます



組合長理事

河上 かわかみ

敢二 かんじ

組合員の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より本組合の事業にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、元日に発生した能登半島地震、8月には日向灘を震源とする地震を契機に南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表されるなど、地震による農林水産業を始めとした経済への打撃のほか、9月には石川県に線状降水帯が発生し、土砂災害による甚大な被害が発生しました。被災された方々には、改めて心よりお見舞い申し上げます。

県内における被害状況は、台風による大きな被害はございませんでしたが、3月から4月にかけて降雨が続いたことにより、麦の耕地に湿害が発生し、一部地域では赤

かび病も発生した結果、麦共済で1億2千万円ほどの共済金をお支払いいたしました。一時の天候不順により被害を受けるといふ、農業のリスクを改めて実感するとともに、農業経営の一助として果たすべき責任を痛感する次第です。

この責任を果たし、より農業者の生活安定に貢献すべく、昨年本組合は、災害時に取りまとめた被害に関する情報をより有効活用するため、農業共済組合として全国で初となる「災害時の協力に関する協定」を県内の全市町と締結いたしました。

この協定は、災害時に市町からの要請により、市町の被災者支援業務に必要な農業用施設及び住家に関する現地の被害情報を本組合から提供することで、被災された農業者の迅速かつ円滑な生活再建の一助に資することを目的としております。

今後も地域農業を守るために我々ができることを考え、役員一同総力を挙げて取り組み、組合員の皆様に更にご満足いただける組織となるべく尽力して参りますので、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末尾とはなりましたが、組合員の皆様にとりまして、本年がより良い年となりますようご祈念申し上げます。謹んで新年のご挨拶とさせていただきます。

組合長理事 河上 敢二
副組合長理事 久保 行男

専務理事 和田 隆

理事 前葉 泰幸

理事 伊藤 徳宇

理事 廣垣 逸夫

理事 増田 政美

理事 高井 秀一

代表 高井 秀一

代表 末松 則子

監事 谷 幸次

監事 窪田 浩久

参事 水越 誓良

参事 水越 誓良

参事 水越 誓良

参事 水越 誓良

外 職員一同

「災害時の協力に関する協定」を市町と締結

協定の目的

災害発生時、市や町は被害を受けた住民のために、迅速な被害に関する情報収集が求められます。しかし、大規模な災害では情報量が膨大となり整理が難しくなります。

そこで、本組合は市町との協定に基づき、災害時に市町から要請があった場合、農業者の損害評価情報や被害写真等のデータを提供します。この情報が活用されることで、被災農家の皆さまが一日でも早く生活の再建に取り組めるよう支援することを目指しています。

この協定は、災害時の迅速な対応と支援に役立つための取り組みです。

災害協定に関する Q & A

Q どのような災害が対象ですか？

A 突風や集中豪雨、台風、地震などの自然災害で、市町が「り災証明書」等を発行する災害が対象です。

Q どのような情報が提供されますか？

A 損害があった物件に対し、本組合がどの程度の損害と評価したかの情報、また損害状況が分かる写真等のデータを提供します。ガラス温室やビニールハウスなどの園芸施設についても同様に情報提供を行います。

Q 情報提供に際し、農業者の同意は得ますか？

A 共済加入時に重要事項として説明し、共済金の請求書に「情報提供同意欄」を設け、同意を確認いたします。なお、農業者の皆さまに不利益になる事は想定されませんが、同意が得られない場合は、情報提供は致しません。

Q 市町と組合の評価の違いが出ることはありませんか？

A 組合が提供する情報は損害の度合いを示すもので、最終的な判断は市町が行います。もし評価に疑義がある場合、市町が再確認する流れとなります。

写真説明

令和6年9月18日、組合の理事・監事を務める5市町の首長が協定を締結した際の写真
(場所：三重県農業共済会館)



左から廣垣理事、高井理事、伊藤理事（桑名市長）、末松代表監事（鈴鹿市長）、河上組合長理事（熊野市長）、久保副組合長理事（多気町長）、前業理事（津市長）、増田理事、和田専務理事

農林水産大臣政務官へ予算要請を実施



上段：左から

久保副組合長理事(多気町長)、河上組合長理事(熊野市長)、末松代表監事(鈴鹿市長)、前葉理事(津市長)、伊藤理事(桑名市長)

下段：山本佐知子農林水産大臣政務官

河上組合長をはじめとする役員が、令和6年11月27日、農林水産省を訪れ、山本 佐知子(やまもと さちこ)農林水産大臣政務官に対して来年度の予算確保に向けた要請を行いました。

本要請は、自然災害や気候変動の影響がますます顕著になる中、農業者の経営安定を図るため、農業保険制度のさらなる充実と強化を求め、現場の状況や課題について具体的な事例を交えながら説明しました。

特に、農業者の負担軽減や農業保険制度の円滑な運営に不可欠な財政基盤の安定化、補償内容の拡充といった未来を見据えた制度改革の必要性を訴えました。また、各地域で頻発する自然災害が農業経営に与える深刻な影響についても説明しました。

山本政務官は、農業保険の重要性を認識していると述べた上で、「現場の声を真摯に受け止め、農業者が安心して営農できる環境づくりに努める」と応じました。

今後、農業者の経営を支える基盤の強化に向け、政府との連携をさらに深めていく方針です。

全国NOSA I

大会開催

東京都千代田区「東京・一ツ橋ホール」で全国NOSA I大会が開催され、組合役職員が参加しました。今後も農業・農村の発展に一層寄与できるよう、組織を挙げて取り組むことが決議されました。



祝辞を述べる

えとう たく
江藤 拓 農林水産大臣



東京農業大学を卒業後、海外研修制度を利用し、アメリカ西海岸の大規模農場で、1年半に渡り農業の在り方や経営について学んだ英之さん。帰国後、父の精康(せいこう)さんが経営する農業法人へ入社し、現在は英之さんが中心となり、精康さん、弟の隼大(はやた)さん、従業員15名で米作りから販売、配達まで一貫して自社で行っています。



最新技術を利用し、
農業の効率化を実現

変わらない想いはそのままに

有限会社 木曾岬農業センター

取締役

こむら ひで ゆき
古村 英之 さん(29歳)

米180[㍴] 小麦75[㍴] 大豆5[㍴]

スマート農業で

大規模稲作革命!

情報通信技術(ICT)を活用

木曾岬農業センターでは、自作地260[㍴]に加え、350[㍴]の田植え、稲刈り、トラクター作業の受託も行っています。この広さを効率よく安全に作業するために農業経営の課題解決をサポートする営農・サービス支援システムを導入。圃場の場所がスマートフォンに反映され、作業内容を指示してくれます。また、作業記録が自動で作成されるため、進捗情報をマップ上で確認でき、仲間同士で情報共有しながら効率よく作業を進められるようになりました。さらに、コシヒカリは夏の猛暑に弱く、三重県での一等米比率は20〜30%という中で、木曾岬農業センターでは土づくりや水管理を徹底し、膨大な面積にも関わらず、一等米比率を95%という高水準で生産し続けています。

先代の想いはそのままに

最新技術を取り入れる一方で

販売経路については、先代から受け継いだ方法を大切にしています。1995年に食糧管理法が廃止され、自由にお米を売る事ができるようになった時、先代が「直接美味しいお米をお届けしたい」と地域のお店を回ってお米を届けたのが始まり。今でもその想いは変わらず、病院、ホテル、旅館、飲食店、弁当会社など、様々な場所へ直接お米を届けています。英之さんは「精米して売るところまでが仕事。営業力だけでなく、良いもの(美味しいお米)を適正価格で売ることこそこだわっている」と笑顔で話します。



システム操作をしながら作業する英之さん

緑ゆたかな北小松を守ろう

四日市市

農業法人理事が語る

農事組合法人「キタコマツファーム」

代表理事 堀川 宜典 さん(75歳)

大手自動車製造会社を60歳で退職。初代代表理事の頃から組合員として活動後、2012年に代表理事へ。現在12年目。



上段:左から 堀田 壽子さん 堀 良子さん 栃木 つた子さん
下段:左から 堀川 鈴子さん 堀川 宜典代表理事 堀川 千賀子さん

「これから継いでいく人達がファームを維持して
いくのに、やりやすい環境作りを目指していきたい」

■ キタコマツファームの歴史

四日市市北小松町では、農家の高齢化等により、地域内の水田に耕作放棄地化の兆しが見られたことから、基盤整備事業を実施。平成9年に北小松土地改良区を設立し、平成11年基盤整備済水田で水稲作付けを開始。平成18年には、営農組合を法人化「農事組合法人キタコマツファーム」を設立。組合員数58名からなり、作付け農地の長期(10年)利用権の設定をし、水稲・麦・大豆を生産。平成19年には、農地・水環境保全向上対策事業に取り組み、平成20年、水稲で「人と自然にやさしいみえの安全食料表示制度」を認定取得、平成24年に北小松産米・大豆使用の味噌づくりも開始した。また、平成25年から「緑ゆたかな北小松をまもる会」の一員として、自治会農家組合、長寿会、レディースクラブなどと交流し、農業だけでなく、地域の振興にも大きな役割を果たしている。

■ 6次産業化と今後の課題

キタコマツファームでは、笑いが絶えない明るい環境で味噌づくりが行われている。理事と女性部のメンバーで、地産地消の米こうじみそ「北小松そだち」を仕込んでいく様子は、とても楽しそうだ。温度管理をしながら造った米こうじ、大豆、塩を混ぜ合わせてミンチ機にかけ、空気抜きをしながら「たるに仕込み、貯蔵庫で熟成する。おしゃべりしながらも、手は止まらない。テキパキと慣れた作業をこなし、最後は厨房までピカピカに磨き上げている。キタコマツファームの味噌は、予約注文とJA直売マーケット、四季菜にて販売している。

「基礎を作ってくれた先輩たちの苦労と、周りの人たちのおかげで今に至っているのです、この味噌づくりも含め、若い人たちへ傳承していきたい」と堀川代表理事は話す。

今後は、地元の方だけでなく、男女問わず、農業経験をしたい!という方をどんどん受け入れていきたいという。

地域の逸品!! をご紹介♪



北小松産大豆
100%の
やさしい味噌

パッケージは北小松町の伝統と大地、健康をイメージしたという。温かい町、北小松のみそ汁で優しい気持ちになってほしいとの想いが込められている。



初代代表理事の奥様:堀 よしみさん



事務員:伊藤 恵子さん

主人が会社とファームの両立を一生懸命していた記憶があります。手探りでみんなで協力しているのも楽しかった!世代交代しましたが、これからも地域で協力しながら大好きな北小松を守っていきたいです。

明るく、元気な女性部の皆さんと健康に気を付けて、楽しくファームを盛り上げていければいいなと思っています。農作業も事務も、若い世代にうまくバトンタッチできるといいですね。

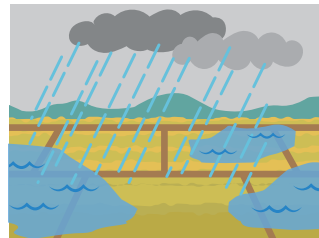
収入保険加入者のみなさまへ

いずれかに該当する場合は、NOSAI三重までご連絡いただきますようお願いいたします。

事故が発生した場合

- 自然災害・病虫害・鳥獣害などにより、品目ごとに収穫量が1割以上減少することが見込まれるとき。
- 市場価格の変動により、品目ごとに販売価格が1割以上減少することが見込まれるとき。

※事故が発生した場合で、つなぎ資金の貸付をご希望の場合は、その旨も併せてご連絡ください。



つなぎ資金とは…?

収入保険の保険金等のお支払いは保険期間終了後となりますが、保険期間中であっても事故発生により保険金等の受け取りが見込まれる場合、無利子のつなぎ資金を受けることができます。

営農計画の変更

作付けする農作物の種類・栽培面積などを変更するとき。

※なお、変更に伴い保険料・積立金・事務費に変更が生じた場合は、差額を精算致します。

また、変更通知が行われない場合、保険金等が支払われないことがありますのでご注意ください。

農業経営の承継または譲渡

家族間での経営移譲または法人化など、税務申告の名義に変更が生じる場合は、事前にご連絡ください。

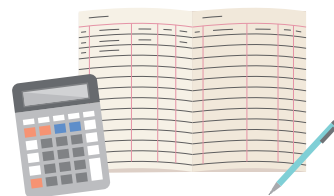


確定申告の準備が整いましたら

保険金等の算定および基準収入金額の再算定を行いますので、下記の資料をご用意いただき、NOSAI 三重までご連絡ください。

個人の方は _____ 法人の方は _____

- | | |
|-------------|-----------------|
| ● 所得税の確定申告書 | ● 法人税確定申告書 別表 1 |
| ● 青色申告決算書 | ● 法人税確定申告書 別表 4 |
| ● 収入金額の内訳 | ● 損益計算書 |



営農と暮らしのヒントを毎週お届け

農業共済新聞

申込方法

購読を希望される方は、氏名、郵便番号、住所、電話番号を記入の上、E-mail: info@nosaimie.or.jpまたはFAX (059) 224-1794 までお申込みください。詳しくは右記QRコードでご確認ください。



2か月間無料!!

試し読みキャンペーン実施中!





水稲共済の加入申込の 時期がまいりました

近年、異常気象により、予期せぬ自然災害が頻発しております。

また、イノシシ・サル・シカ・カメムシなどによる被害も多く、さまざまなリスクが想定されます。いつ発生するかわからない災害に対して日頃より対策を講じるとともに、**水稲共済**か**収入保険**に加入していただくことをおすすめしております。

お住まいの市町の農業再生協議会等から令和7年産の水稲共済加入申込書兼変更届出書が配布されますので、記入方法などをご確認いただき、各市町の期限までにご提出ください。また、提出後に作付け内容等の変更がありましたら、速やかに当組合までご連絡ください。

おすすめの加入方式を紹介します!!



JA等の乾燥調製施設に収穫量の全量を搬入されている方

大災害時に補償があって、掛金を抑えたい方

全相殺方式

地域インデックス方式

最大補償割合

9割

9割

10a当たりの掛金目安
(※一筆半損特約付)

250円

130円

評価方法

- 全耕地の収穫量合計が基準収穫量の9割を下回った場合
- 現地評価及び施設計量結果等にて評価

- 市町別統計単収が基準の9割を下回った場合
- 現地評価及び統計データにて評価

※一筆半損特約とは…耕地一筆ごとに、半損以上の被害が認められた場合に共済金が支払われます

詳しい内容については、NOSAI三重までお問い合わせください

大切な農産物を保護する ハウスを守りましょう!



近い将来、発生が懸念される南海トラフ巨大地震をはじめ、自然災害への不安は年々高まっています。昨年全国各地では台風や突風、落雷など自然災害による事故が多数発生しました。

1月から4月にかけて積雪や急な突風による被害も心配され、農業保険制度による備えは重要性を増しています。

まだ加入がお済みでない方、現在の補償内容に不安がある方はぜひこの機会に加入内容を検討されませんか？

**一人一人に合った制度説明・掛金等見積もりをご提示させていただきます！
お気軽にNOSAI三重までお問い合わせください。**

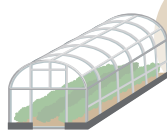
園芸施設共済掛金等の試算(目安)

パイプハウスの場合(**新築**、設置面積200㎡) ※経過年数により掛金等は安くなります。

補償パターン①

おすすめポイント

「周年被覆」



手厚い補償で安心のハウス栽培!!

- 最大の補償内容
- 全損時の片付けや建て直し費用も広くカバーします
- ハウスの評価額(時価額)を100%補償
- 補償を手厚くしたい方におすすめ!

掛金等合計 22,000円/年
(補償金額101万円)

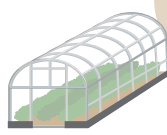
最大補償型

本体・被覆材補償	○
撤去にかかる費用	○
復旧にかかる費用	○
小損害不填補1万円特約	○
付保割合追加特約20%	○

補償パターン②

おすすめポイント

「周年被覆」



補償も必要だけど掛金も心配...そんな方に!

- 標準的な補償内容
- ひとまず安心
- ハウスの評価額(時価額)を80%補償
- 補償も掛金もバランス良く加入したい方におすすめ!

掛金等合計 15,000円/年
(補償金額80万円)

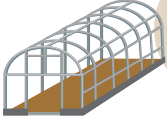
標準補償型

本体・被覆材補償	○
撤去にかかる費用	○
復旧にかかる費用	×
小損害不填補1万円特約	○
付保割合追加特約20%	×

補償パターン③

おすすめポイント

「3か月のみ被覆」



欲しい期間だけの安心補償!!

- 育苗ハウスのように、年間を通じてビニールの被覆をしない施設の場合、**ビニールが未被覆の期間の掛金は低く設定され、掛金を抑えつつパイプに対する被害を補償することができます。**

掛金等合計 5,000円/年
(補償金額80万円)

短期被覆補償型

本体・被覆材補償	○
撤去にかかる費用	○
復旧にかかる費用	×
小損害不填補1万円特約	○
付保割合追加特約20%	×



積雪や凍結、火災にご注意を!!
大事な建物を補償いたします!!



総合共済

自然災害まで幅広く補償!!

1棟あたり
共済金額 **4,000万円**まで

対象となる事故①～⑭ 冬場は  **②⑤⑬**の事故にご注意を!!

① 
風水害

② 
雪害

③ 
土砂崩れ

④ 
地震、噴火、津波※1

おすすめ!
大きな安心で
みなさんの
暮らしを
バックアップ
します。

⑤ 
火災

⑥ 
落雷

⑦ 
破裂・爆発

⑧ 
外部からの物体の衝突等
(一部内部も含む)

⑨ 
建物内部での車両
の衝突・接触

⑩ 
給排水設備の事故
による水漏れ

⑪ 
盗難によるき損、汚損

⑫ 
騒乱に伴う破損

⑬ 
水道管の凍結に
よる損害※2

⑭ 
消火活動による損害

★ 床下の浸水は対象外となります。
※2 1事故当り10万円を限度
※1 建物の損害割合が5%以上となった場合に対象となります。共済金のお支払いは加入金額の50%が限度です。

火災共済

対象となる事故**⑤～⑭**

1棟あたり
共済金額 **6,000万円**まで

大事な建物を補償いたします!!

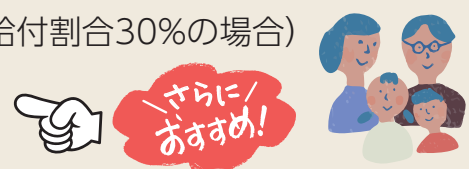
臨時費用担保特約

最大で損害共済金の30%を共済金に加えてお支払いします。

○ 共済掛金例 (木造住宅に共済金額1,000万円、臨時費用給付割合30%の場合)

総合共済 **28,200円/年** (特約なしの場合25,100円/年)

火災共済 **7,900円/年** (特約なしの場合 6,700円/年)



さらに/
おすすめ!

○ 支払例 (損害共済金が100万円、臨時費用給付割合30%の場合)

損害共済金 100万円 + 臨時費用共済金 30万円 = **130万円**

※ この特約は一回の共済事故につき1建物ごとに250万円を限度とします。
※ 地震・噴火・津波による損害は対象外となります。

Point
お支払い金額

わずかな
掛金で
大きな補償!!

補償内容やお見積り等、お気軽にNOSAI三重までお問い合わせください。



Agriロマン鈴鹿
とよだ えみこ
代表 豊田 栄美子さん

やわらか
まるやか食感

手作り寄せ豆腐



Recipe

材料
5人分

大豆* _____ 500g
天然にがり* _____ 25cc
水 _____ 1,400cc

※大豆(夏は8時間、冬は15時間水に浸けたもの)
※天然にがり(分量外のお湯50ccで薄めておく)

作り方

- ① 大豆をお椀3つに分ける。
- ② お椀①に水400ccを入れミキサーで1分かけ深鍋に入れる。
- ③ ②を繰り返して、最後に200ccの水でミキサーを洗い鍋に入れる。
- ④ 鍋を火にかけて、こげないようにかき回す。強火で良い。
- ⑤ 沸騰してくるとあわが吹き出すので注意する。弱火にして5分程煮る。
- ⑥ 絞り器でおからと豆乳に分ける。
- ⑦ フタ付き鍋に豆乳を入れ火にかけて75~80℃になったらにがりを入れる。にがりを入れたら「の」の字に一回かき回してフタをして30分置く。
- ⑧ 鍋の中で固まったのが寄せ豆腐です。
- ⑨ 木枠に入れて固めると堅豆腐が出来る。(おからはおからドーナツ、おからハンバーグに使用しても美味しいです。)

用意する道具

深い鍋	絞る道具
浅い鍋	ミキサー
お椀3個	温度計
軽量カップ	木べら
ストップウォッチ	布袋



令和8年4月採用 職員募集案内

- **採用予定人数** 若干名
- **募集職種** 一般職員
- **業務内容** 農業保険法に基づく事務及び外勤業務(加入推進、損害評価)等
- **応募資格**
 - 令和8年4月1日時点で19歳以上30歳以下の者
 - 高校以上の既卒者または令和8年3月31日までに短期大学、4年制大学、大学院を卒業見込の者
 - 普通自動車運転免許取得者(取得見込可、AT限定可)
- **応募方法**
 - 履歴書
 - 自己紹介書(当組合指定様式)
※当組合採用サイトにて取得可
上記書類を郵送または持参してください
- **書類提出先** 〒514-0008 三重県津市上浜町六丁目81番地11 三重県農業共済組合 総務部 人事セクション 宛
- **提出期限** **令和7年3月21日(金) 必着**
- **選考試験日**
 - (1) 一次試験(適性検査等) 令和7年4月9日(水)
※書類選考合格者のみ
 - (2) 二次試験(面接試験) 令和7年4月17日(木)
※一次試験合格者のみ
 - (3) 三次試験(面接試験) 令和7年4月25日(金)
※二次試験合格者のみ

詳しくはHPをご覧ください。



クイズ!!
NOSAI三重
読者プレゼント

クイズに答えて正解された方から抽選で

「純米吟醸 木曾岬 凜」&
「三重県木曾岬産 こしひかり3kg」
のセット **5名様** にプレゼント

土からこだわって作られた美味しい
自慢のこしひかりと、そのこしひかり
から生まれた純米吟醸 木曾岬 凜を
セットでお届けします。



※当選者への発送は2月中旬を予定しております。
※20歳未満の方の飲酒は法律で禁じられています。

クイズ!!

建物共済で自然災害を補償
できるのは

(A) 火災共済
(B) 総合共済

応募方法 & 応募締切

前回の答え _____

農機具損害共済に新たに追加さ
れたのは何種類でしょう?

答えは②の
10機種でした。

たくさんのご応募ありがとうございました。

応募数232通

はがきに、右記の事項を必ずご記入
のうえ、応募ください。

85 5140008
津市上浜町 6-81-11
三重県農業共済組合行

1.クイズの答え

2.郵便番号

3.住所

4.氏名

5. **年齢**

6.電話番号

7.ご意見・ご感想

当日消印有効

1月31日(金)

※当選者の発表は、賞品の発送
をもって代えさせていただきます。
なお、応募いただきました個人
情報は、当選者の抽選、
発送以外には使用いたしません。

※今回はプレゼントにお酒が含まれているため
20歳以上の方がご応募いただけます。

読者の声

●父の後を引き継いで3年、農
業の大変さをしみじみと感じ
る毎日です。出来る限り自分
で作ったお米を食べるために
頑張ります。
亀山市・女性

●いつまで米作りができるかわ
かりませんが、体が動く限り
頑張りたい。
鈴鹿市・男性

●新しくトラクターを買いまし
た。安全運転に注意はしてい
ますが、年々歳もとるので、
共済は必要です。
鈴鹿市・女性

●いばら餅作ってみました。上手
に出来ておいしかったです。
津市・女性

●農業についてはまだまだ半人
前で、勉強中です。頑張ります。
伊勢市・男性



安心のネットワーク

NOSAI三重 お問い合わせ先

企画部・事業部

〒514-0008

津市上浜町六丁目81番地11 2階

☎059(224)0505

総務部

〒514-0008

津市上浜町六丁目81番地11 3階

☎059(228)5135

家畜部

〒514-0003

津市桜橋一丁目649番地

2階

☎059(228)6282

NOSAI三重
Instagram



NOSAI三重
LINE



NOSAI三重ホームページ
<https://www.nosaimie.or.jp>

